

入稿データ形式とデータ作成時の注意点

Illustrator

■印刷に必要なデータ

①Illustratorの文字アウトライン済みのファイル（保存形式：ai）

②データ内で使用されている画像ファイル

※文字（フォント）のアウトライン化は必須です。

※データ作成方法については、弊社WEBサイトからダウンロードできるテンプレートに記載しています。

■バージョンについて

Adobe Illustrator 8～10 / CS～CS6 / CC（2020まで）

■OS

Windows10 / MacOSX

■入稿後のデータチェックについて

①サイズ・ヌリタシ

②文字（フォント）のアウトライン化

③画像ファイルのリンク切れ

※カラーモード（RGB）や特色を使用されておりますと、色調のトラブルが発生する場合がございます。

CMYKモードでのデータ作成を推奨いたします。

Photoshop

■印刷に必要なデータ

①統合された画像ファイル（保存形式：psd（推奨）、jpg、eps）

※Photoshop入稿の場合トンボはつけずに、仕上がりサイズ（300×420）に3ミリヌリタシを出したサイズ（306×426）でご入稿ください。

※eps形式の場合は、「EPSオプション」のチェックボックスを全てはずしてください。

■バージョンについて

Adobe Photoshop 7 / CS～CS6 / CC（2020まで）

■OS

Windows10 / MacOSX

■入稿後のデータチェックについて

①サイズ・ヌリタシ

②画像の統合化

※カラーモード（RGB）でデータ作成されておりますと、色調のトラブルが発生する場合がございます。

CMYKモードでのデータ作成を推奨いたします。

PDF/X-4

■印刷に必要なデータ

①PDF/X-4基準で書き出されたPDFデータ

※PDF入稿の場合トンボはつけずに、仕上がりサイズ（300×420）に3ミリヌリタシを出したサイズ（306×426）でご入稿ください。

■入稿後のデータチェックについて

①サイズ・ヌリタシ

②Acrobatでのプリフライト検証